



智原聖治アトリエ

智原聖治（ちはらせいじ）

1974年 福岡県生まれ

1996年 福岡県立城南高等学校卒業

1999年 熊本大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了

1999年 有限会社 香山壽夫建築研究所（東京都）

2011年 智原聖治アトリエ 設立

2016年 株式会社 智原聖治アトリエ 一級建築士事務所に改組

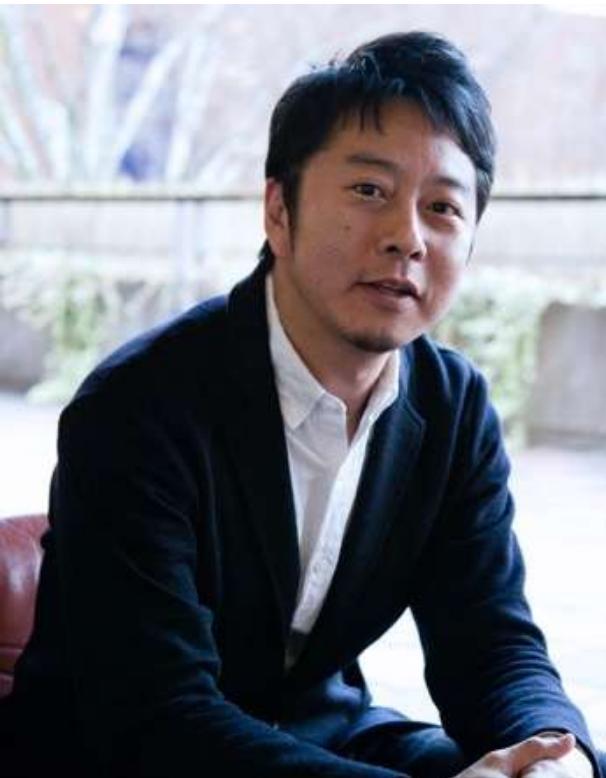
2018年 熊本大学非常勤講師（～2021年）

2021年 西日本工業大学非常勤講師

ちはらせいじ

智原聖治 ≠ 千原せいじ

注：2014年撮影（10年前）



智原聖治（ちはらせいじ）

1974年 福岡県生まれ

1996年 福岡県立城南高等学校卒業

1999年 熊本大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了

1999年 有限会社 香山壽夫建築研究所（東京都）

2011年 智原聖治アトリエ 設立

2016年 株式会社 智原聖治アトリエ 一級建築士事務所に改組

2018年 熊本大学非常勤講師（～2021年）

2021年 西日本工業大学非常勤講師

主な受賞歴

- 2013年 第7回建築九州賞奨励賞「千早の家」
- 2015年 第28回福岡県美しいまちづくり建築賞佳作「南庄コーポラティブハウス」（住戸設計）
- 2016年 IES照明賞入賞（北米照明学会）「カトリック浄水通教会司祭館・信徒会館」
- 2019年 2019年度グッドデザイン賞「WIL-BU山王」
第6回福岡県木造・木質化建築賞特別賞「WIL-BU山王」
第13回建築九州賞奨励賞「WIL-BU山王」
第32回福岡県美しいまちづくり建築賞最終選考対象作品「WIL-BU山王」
- 2022年 IES照明賞入賞（北米照明学会）「松陰塾 交友館」
- 2025年 2025年度グッドデザイン賞「あまやどりの家」

所属団体

- サスケアリンク 九州支部
- 中小企業家同友会 福友愛支部
- 福岡南ライオンズクラブ
- 日本建築家協会 九州支部福岡地域会

経営理念

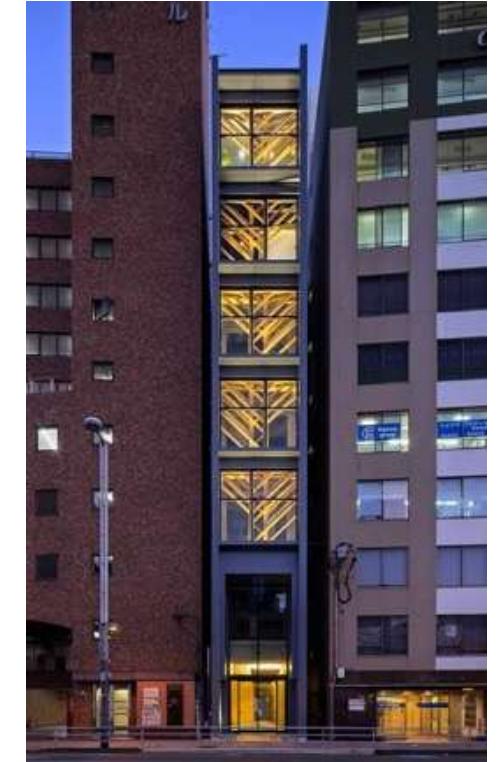
日本の風土に根ざし、ラディカルな建築をデザインすることで、
人と社会を豊かにし、地球環境に貢献する。

ラディカル = 「伝統と革新」

ビジョン

1. 福岡を代表する設計事務所になり、中大規模・中高層木造建築設計で九州No.1の会社になる。
2. 人や地域から必要とされ、社員が誇りを持って働くことができる会社になる。
3. 地球環境の保全に積極的に参画できる会社となる。

「現代の**木造建築**で人を豊かにし、
持続可能な社会を実現する。」



何故、今、木造建築なのか？

1. 脱炭素社会の実現
2. 日本は森林国
3. 自然素材であること

1. 脱炭素社会の実現

- ・気候変動対策（建設業CO2排出量約40%）
- ・SDGsの一環（項目13）



令和3年10月1日施行

「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」 (通称：都市（まち）の木造化推進法)

林野庁

「建築物における木材の利用の促進に関する基本方針」

I-1 建築物一般における木材の利用の促進に向けた取組②

(2) 建築物木材利用促進協定制度の活用（続き）
【地方公共団体との協定に基づく団体・企業による取組事例】

株式会社ひざみんホールディングス × 広島県
「建築物の木材の利用促進に関する協定」

- ・広島県産材を含む木145㎡²を活用した木造の新店舗を開設。
- ・令和5年7月には、県内の建築士と業界関係者、学生向けに、新店舗の現地構造見学会を開催するとともに、同10月には、同社のカーボンニュートラル社会の実現に向けた取組について講演を実施。

株式会社埼玉りそな銀行 × 埼玉県
「埼玉県産材に関する建築物木材利用促進協定」

- ・令和5年9月に埼玉りそな銀行が運営する地域特化型サイトにて西川材の特集記事配信。
- ・同10月～11月に、本社および4支店にて西川材製品及び西川材PRポスターの展示や、県産木材を一定割合以上使用した住宅に対する金利優遇等の特典が受けられる住宅ローン商品のポスターを掲示。

津山信用金庫、院庄林業株式会社 × 津山市（岡山県）
「製作ひきのき等利用促進に関する協定」

- ・津山信用金庫の支店の建設にあたって、院庄林業（株）が設計支援や木材調達、木工事などを担当し、令和5年9月に着工、12月に上棟し、令和6年7月末に完成予定（使用木材はすべて美作ひのきで107m³）。建設中の様子
- ・今後も木造建築物の建設スケジュール等を両者で共有し、設計支援と資材の利用時期に応じた安定的な供給体制を構築。

施木県大企業協同組合連合会 × 須須山市（福井県）
「須須山市内の公共建築物における木材利用促進協定」

- ・市の認定こども園の建築（※）において、地域で供給可能な木材の品質、寸法等の情報を提供。必要な量、規格を把握し、地域の大木供給事業者等と連絡・調整し、地域での確保を行い、令和6年7月末に県産木材を約310m³活用する計画のこども園が完成予定。

I-1 建築物一般における木材の利用の促進に向けた取組④

(5) 建築物への木材利用の状況

①建築用材等の総需要量及び国内生産量（表1）

建築用材等について、

- ・総需要量は、36,083千m³で前年比390千m³減少
- ・国内生産量は、17,849千m³で前年比327千m³増加
- ・建築用材等の自給率は、49.5%で前年比1.5ポイント上昇

（表1）

総需要量(千m ³)			自給量のうち国内生産量(千m ³)(前年比)		
令和2年	令和3年	令和4年	令和2年	令和3年	令和4年
33,516	36,473	36,083	15,810	17,522	17,849
(47.2%)	(48.0%)	(49.5%)			

資料：農林水産省「木材動向」より。
※木材の需要量は、建築用材等の需要量を算入した額を用いています。需給調査による、製材用材等の需給量を除いています。

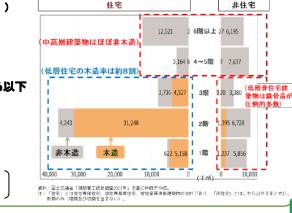
②木造建築物の着工状況

ア 構造別・階層別・用途別の着工建築物の床面積（図1）

着工建築物の木造率（床面積ベース）は、

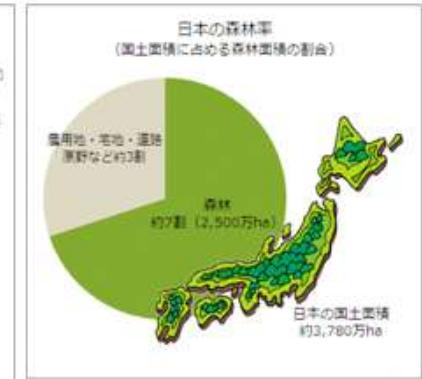
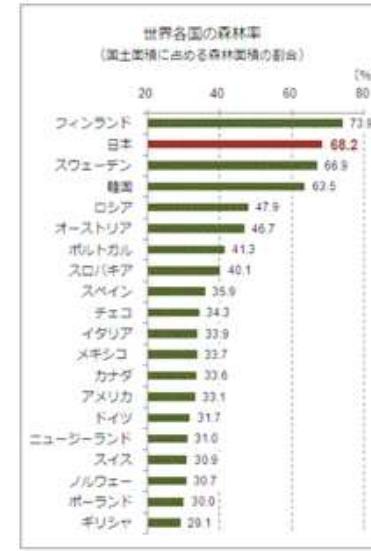
- ・低層住宅木造率は、82.6%
- ・低層非住宅建築物の木造率は、14.7%
- ・中高層建築物の木造率は、住宅・非住宅ともに0.1%以下

（図1）



2. 日本は森林国

- ・国土の森林率は約70%（林業の衰退）
- ・古くからの木造建築物（縄文時代～）
- ・新しい技術による木材

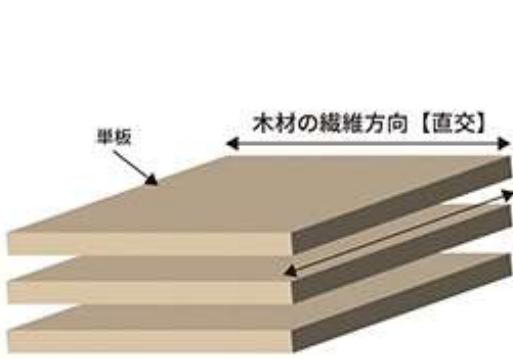


(出典) 森林・林業学習館ホームページ

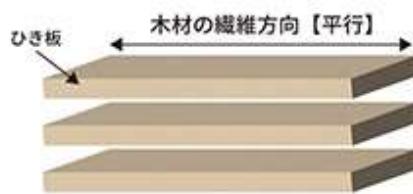
図 日本と世界各国の森林率



エンジニアリング・ウッドの種類



合板



集成材

(Cross Laminated Timber)

CLT木材



最新技術

单板を縦横でジengaのように積んで加工。
一枚の大きなパネルとして使用する

NLT木材

(Nail Laminated Timber)



单板を釘のみで接合

智原聖治アトリエ

LVL木材



4mmの单板を圧着。
1つの单板として使用する

DLT木材

(Nail Laminated Timber)



木ダボ
(木の棒)

单板を木ダボのみで接合

3. 自然素材であること

- ・健康面に配慮（特に子ども、高齢者）
- ・精神面の安定（心地よさ、あたたかみ、リラックス）
- ・働く人の環境面（ウェルネス、ストレス軽減）



○その他の特徴

1. 耐震構造により耐震性を確保
2. 建設コスト 2~3階建は経済的
4階以上は鉄骨造とRC造の中間程度
3. 耐火建築物とすることで火に強い
4. 減価償却が短い
5. 建設期間が短い

○弊社の強み

1. クライアントに寄り添い、
クライアントの想いをかたちにします。
2. デザインのちからにより、豊かさを表現します。
3. 利用者、運営者が使いやすく、機能的で永く愛される
建物をつくります。



智原聖治アトリエの実績紹介



老人ホーム

木造 2階建





智原聖治アトリエ





智原聖治アトリエ



就労継続支援施設

木造 平屋建







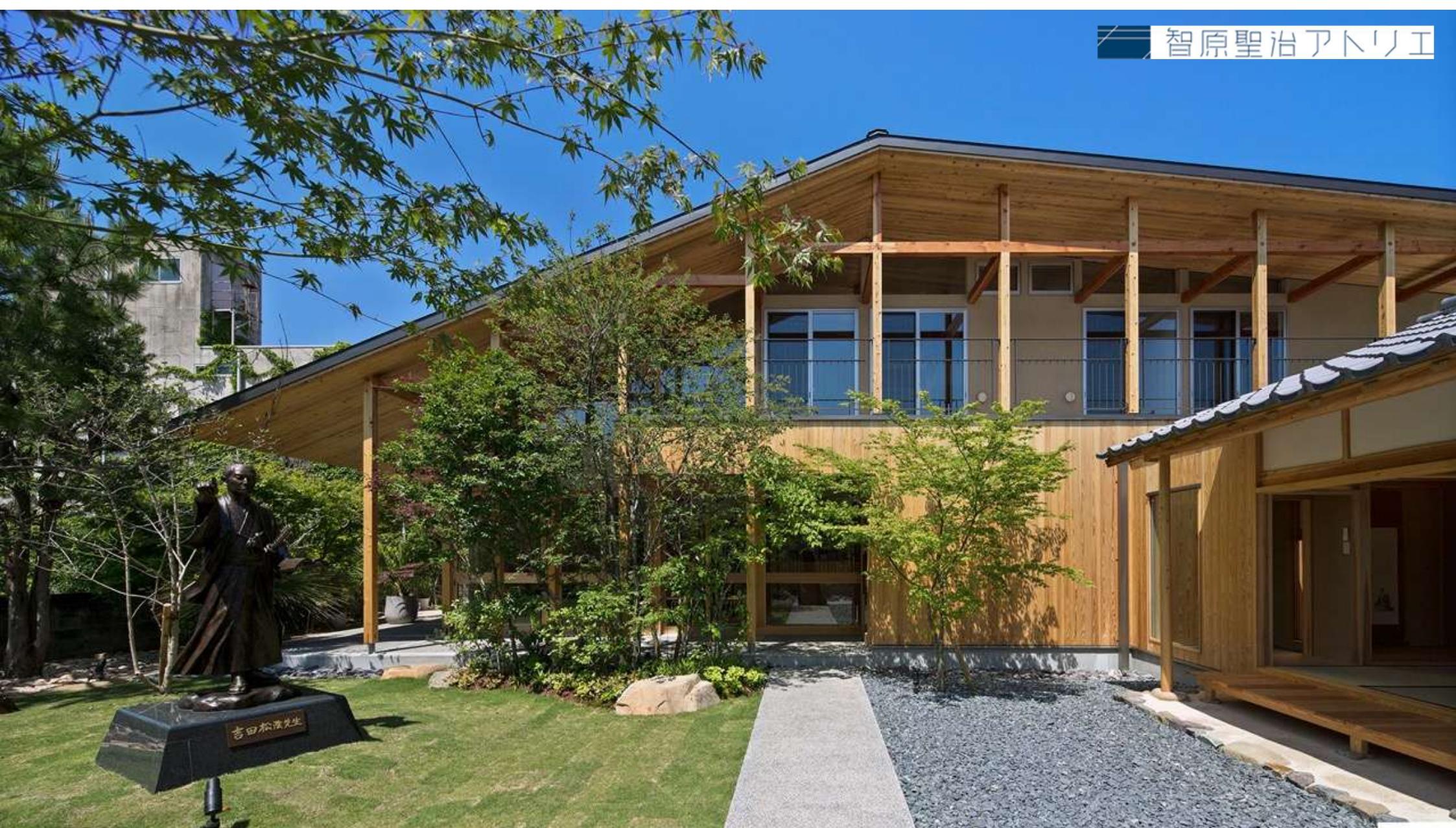
智原聖治アトリエ





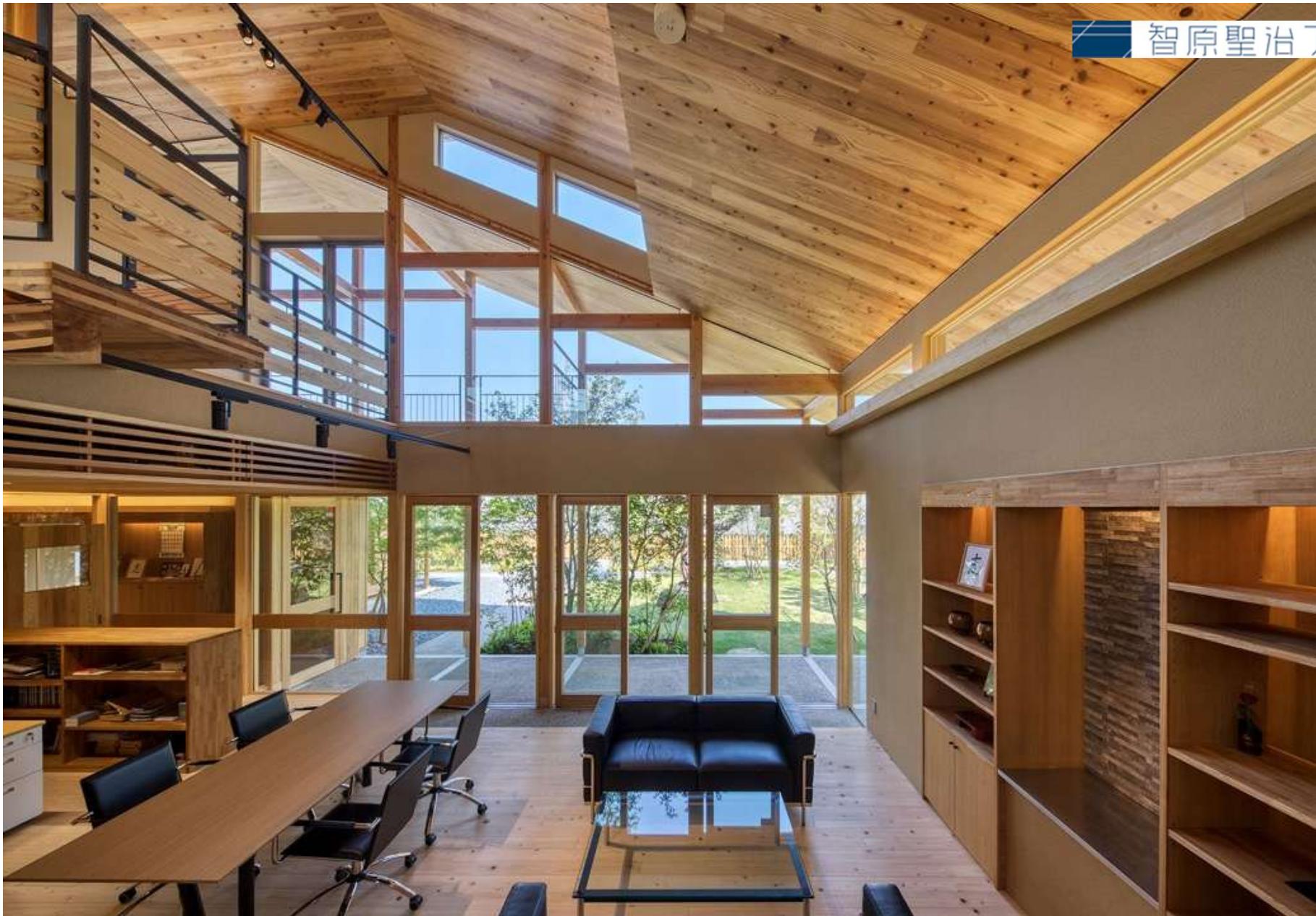
学習塾

木造 2階建





智原聖治アトリエ

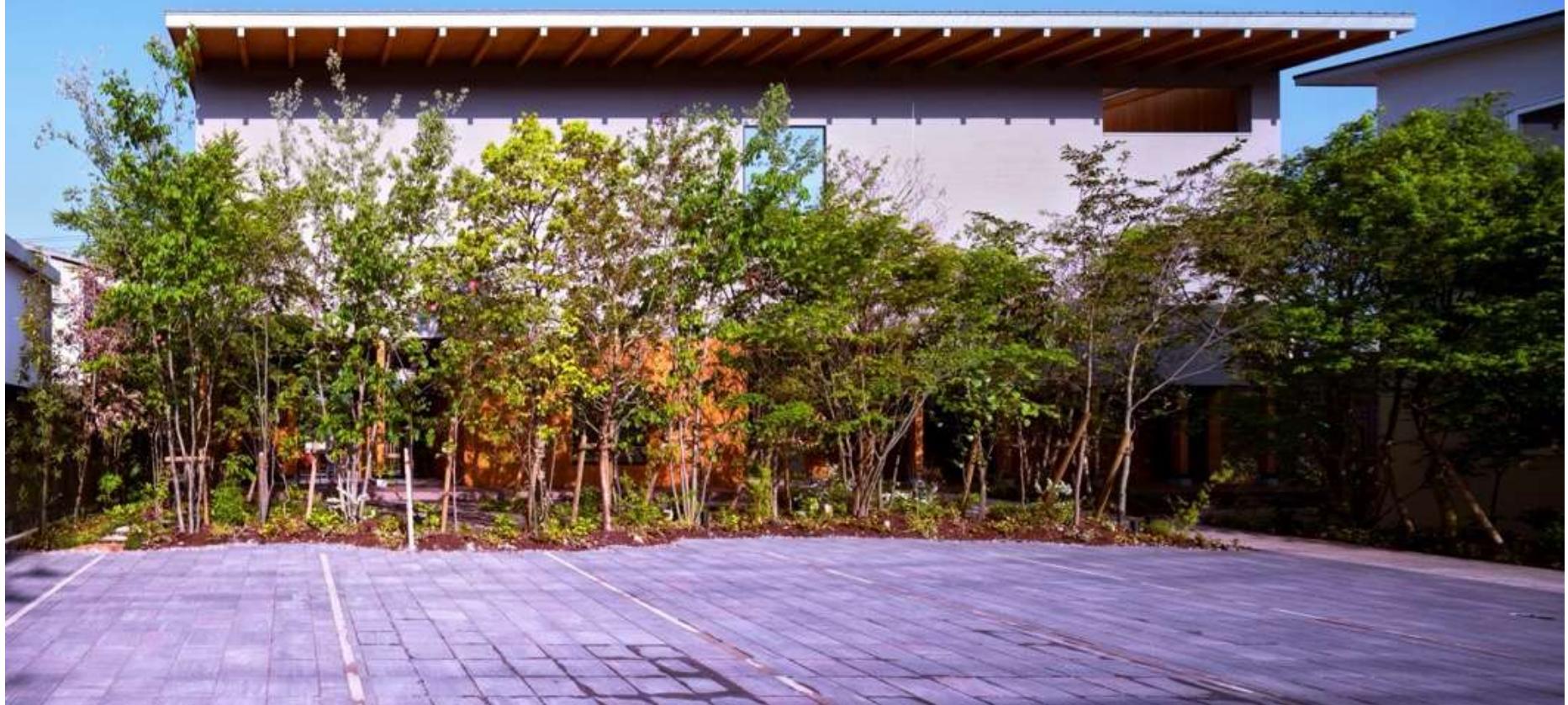






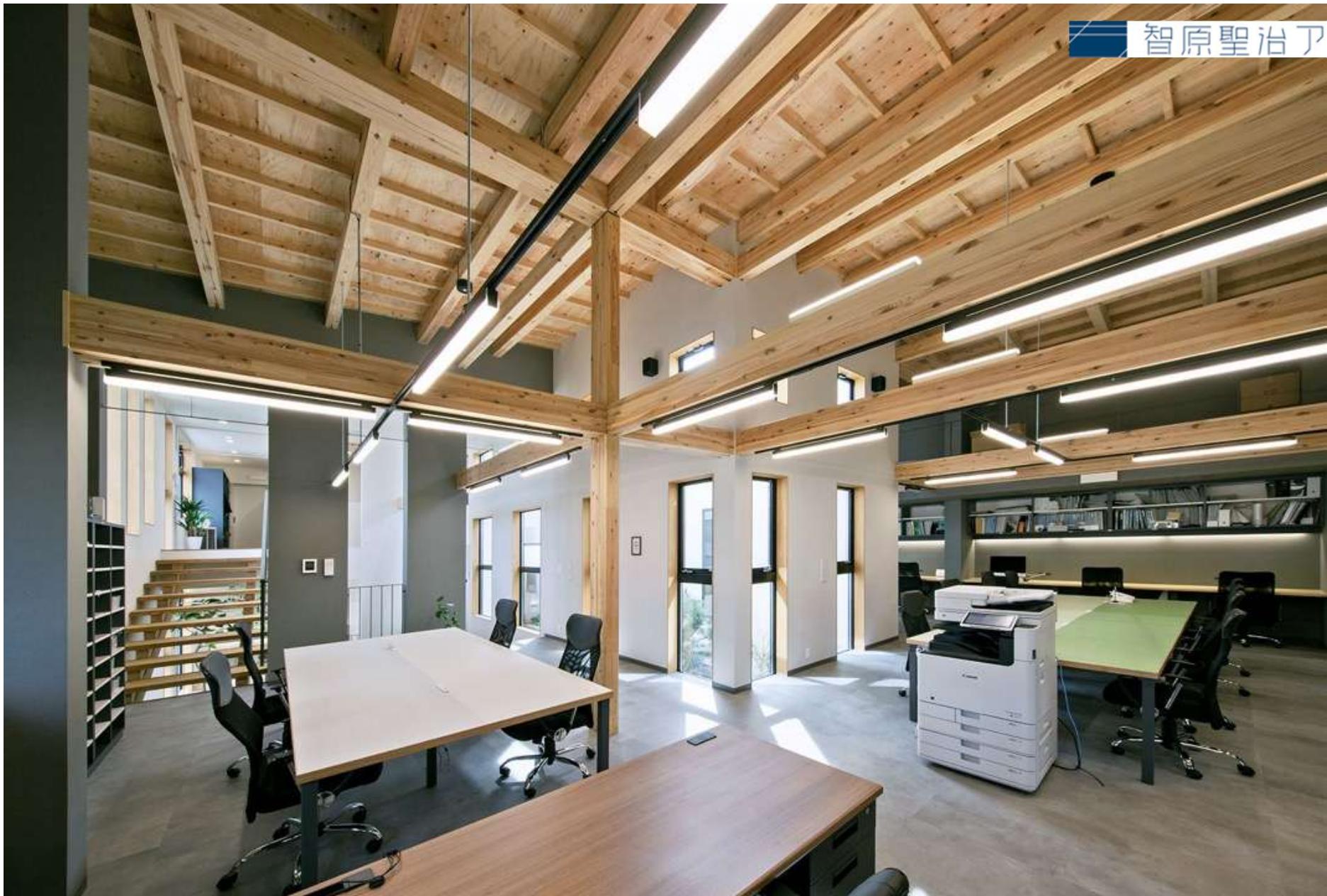
オフィス

木造 3階建



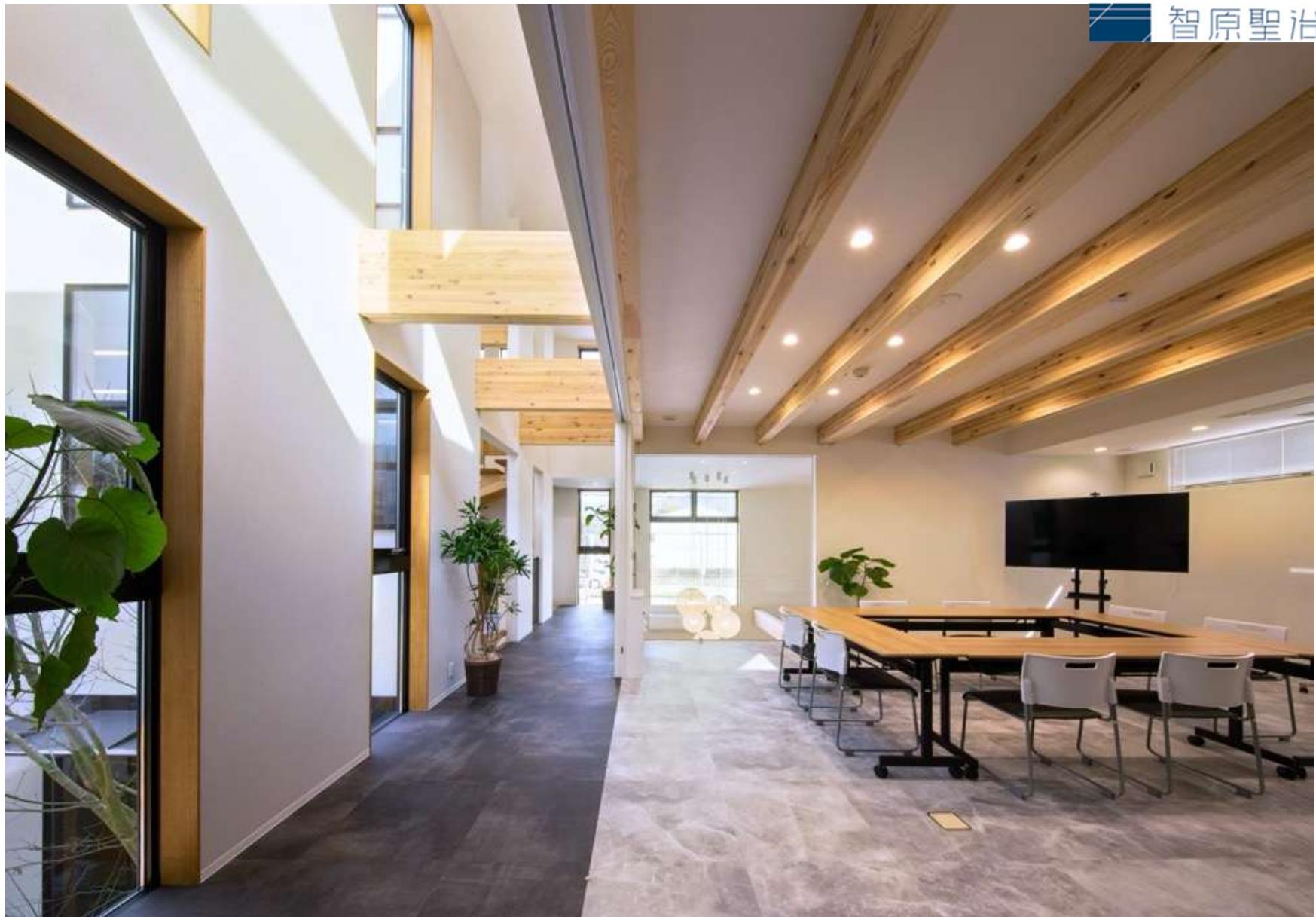


智原聖治アトリエ





智原聖治アトリエ





家具工場

木造 平屋建

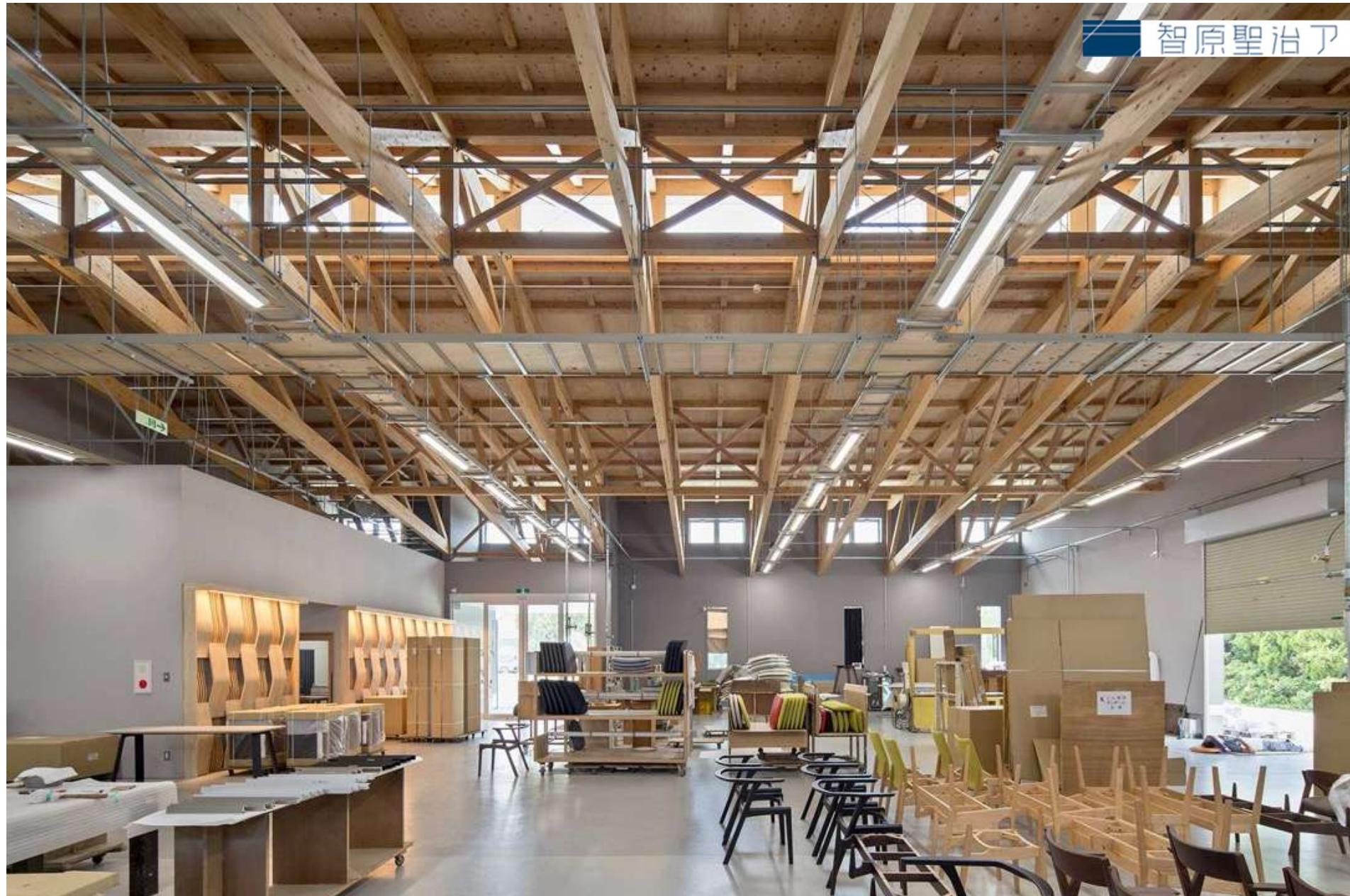


智原聖治アトリエ



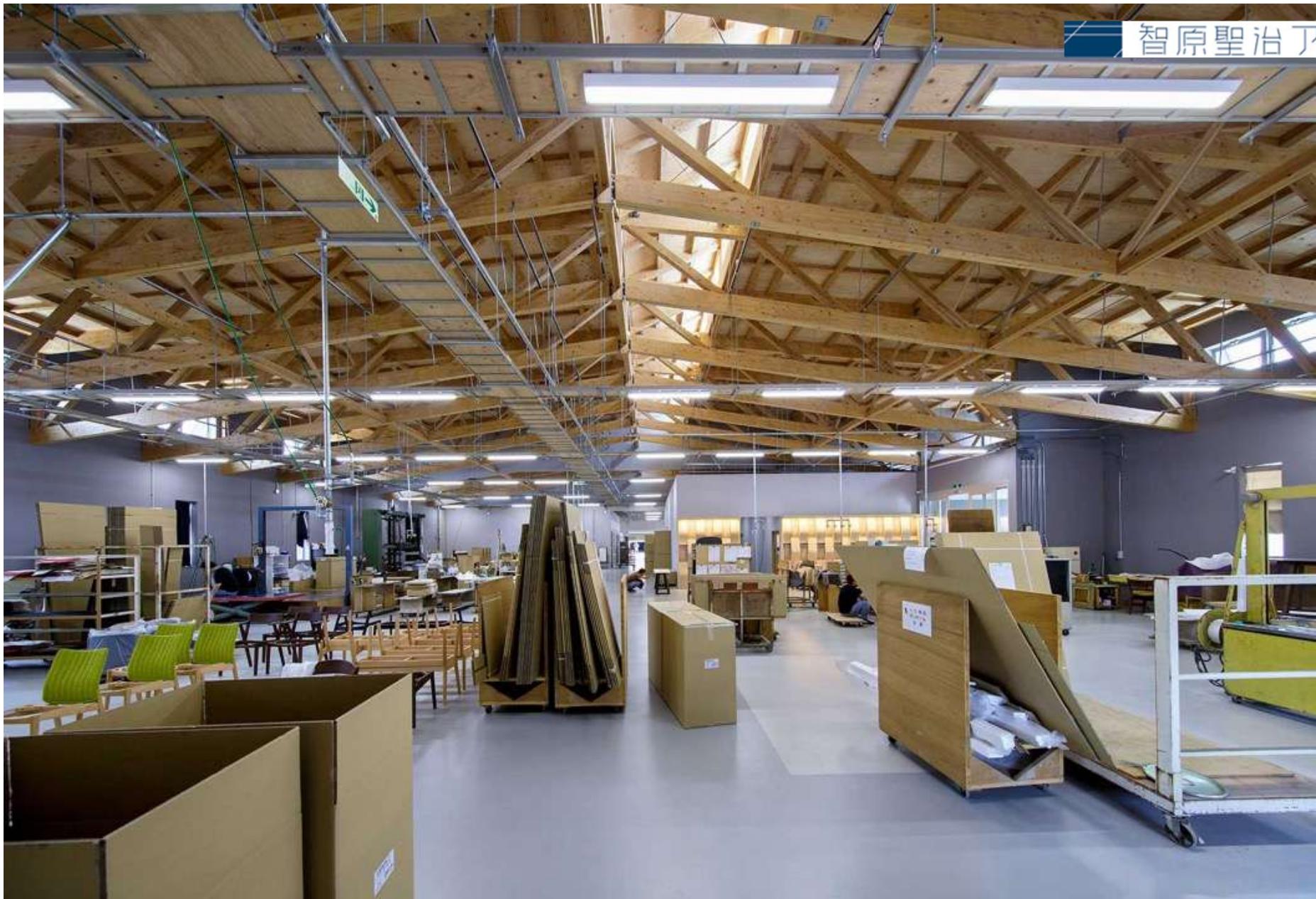


智原聖治アトリエ





智原聖治アトリエ





商業施設

木造+鉄骨造 8階建





智原聖治アトリエ





施設を新築あるいは改修する
予定のある方は
是非、お問い合わせください。
全国どこでも対応します！

○社会福祉施設

- ・老人ホーム
- ・グループホーム
- ・障がい者委支援施設

○医療福祉施設

- ・クリニック

○商業施設

- ・オフィスビル

○児童福祉施設

- ・保育園

LINE アカウント



ご清聴ありがとうございました。

